

JAC 埼玉支部 2024年12月 月例山行「沼津アルプス」山行報告

グレード☆+

*日程 前泊 2024年12月6日(金)

山行日:2024年12月7日(土)

*場所:沼津アルプス 最高峰/鷲頭山(392m)

*参加者:渡辺 CL、大野 SL、朝井、塚越、行方、平本(美)、平本(真)、宮崎、吉田、9名

*集合:JR 沼津駅前南口(6:30)

*天候:晴れ

*行程:7:00 登山口/八重坂峠→7:40 横山→8:30 徳倉山→9:50 志下山→10:40 小鷲頭山→
11:00 鷲頭山→12:15 多比口峠→12:30 大平山→12:50 多比口峠→13:30 多比バス停～
14:15 沼津駅

歩行距離 8.6km、時間約 6.5 時間(休憩含む)

*装備:日帰り登山装備 雨具、昼食、行動食、非常食、飲料水、救急用品、防寒着等

*共同装備:支部旗、救急用品

*行程概要:

今回の山行は、沼津駅周辺に前泊して、当日駅前に6時半集合、最初に目指す横山の登山口(八重坂)まではタクシー移動しました。朝は少し冷え込みましたが、天気も良く日が上がるとともに心地よい山行日和となりました。風がちょっと強かったですが、何れの場所でも眺望が良く山行を楽しむことが出来ました。

7時に八重坂峠を出発し、いきなりロープありの急登から始まりました。40分程で最初のピーク横山に到着。小休止後100m程下り、鞍部の横山峠を経て次のピーク徳倉山に向かいます。徳倉山は横山より少し高く256m。三角点が置かれ、駿河湾から富士山の眺望が素晴らしいです。この後、急坂を下り、また登りの繰り返しになります。太平洋戦争末期に掘られた機関銃座跡、中将岩横を通過して沼津アルプス最大の難所鷲頭山の登りです。急登が緩やかになると小鷲頭山です。もう一登りで最高峰鷲頭山です。ほぼ予定通りの11時着でした。食事休憩後、下っていくと多比峠。岩尾根にウバメガシ(備長炭原料で有名)の群生の中を歩き、多比口峠に到着。ここを右に下ればバス停ですが、直進して最後のピーク大平山に向かいます。ピークで小休止後、多比口まで戻り多比バス停へと下ります。13:30 皆さん無事に、バス停に到着しました。

沼津アルプスは、400m以下の低山で7山7峠をつなぐ初級者向けの山として案内されていますが、各山とも急登と急な下りの繰り返しで、縦走はかなりの健脚向きです。しかし七つの山それぞれ少し下った峠(鞍部)からはそのままバス停まで下れますので、体力に応じて楽しめるということになります。地元ボランティアの皆さんの手作りの案内があり、道迷いもほとんどありません。富士山、駿河湾、天城などの絶景を望むこともできます。急坂の登り下りには、いずれも鎖、ロープが整備されていますので慎重に登り下りすれば危険はありません。楽しい山行でした。皆さん一度行かれたら宜しいかと思えます。

(記)大野



駿河湾方面が見えます。



鷲頭山への急登



沼津アルプスの最高峰・鷲頭山頂上にてパチリ

【参加者の感想】

■朝井紀久子：沼津アルプスは、ずっと前から気になって行きたかったので、企画して頂いて良かったです！ 思いもよらず急登が多く、また滑りやすさもあり気の抜けない事には驚きました！（笑）でもワクワクしていた駿河湾を見ながらの山道の光景が見られて良かったです。下山後の沼津のお寿司、なんと美味しかったことか(^o^) 山と海のコンビ、良いですね！

■塚越和子：風が少し強く、でも空は青空の1日、皆さんとの会話も弾んだ楽しい沼津アルプスでした。途中で、町や海が見えてきたり、富士山が、半分顔を出していたり、歩きながらも楽しめました。帰りに買ったみかんも、すごく甘くて沼津のお寿司も新鮮で、山も含めて最高の1日でした。

■行方真由美：海風とポカポカ陽気と急登を何度も登って下って海を見渡し富士山も見える沼津アルプスはとても良い山でした。鷲頭山の山頂には柑橘系の木に大きな実が実っていて沼津らしかったです。前泊から参加メンバーの皆さん、渡辺さん、大野さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

■平本真二郎：沼津アルプスは以前より気になっていた所で、今回の支部山行案内を見て直ぐに参加を決め楽しみにしていました。最初の登山口から急登が始まり、その後もアップダウンが連続し低山とは思えない変化の有るコースで、海と富士山見え隠れする気持ちの良いコースでした。次はぜひ、新緑の春にもう一度訪れたいと思っています。

■平本美恵子：海の無い埼玉県に住んでいると、海を見るだけで感動してしまいます。沼津アルプスは駿河湾を見ながら富士山となかなかの急登・急下りの連続で景色最高、ハードさ面白い、とても楽しい山行でした。海の近くとなるとやっぱりチラつくのは魚…沼津駅近くで皆さんと食べたお寿司はこれまた最高に美味しかったです。

■宮崎則子：低山ながら、UP&DOWN が続く山道、好天に恵まれ、汗をかく急登もありましたが、道が乾いていたので落ち葉、岩、小石に気を付ければ歩き易かったです。又、地元の方々の尽力で山道や標識等整備が整っていたので安心感がありました。「中将宮」や「機関銃台座跡」などの説明板で歴史の勉強もできました。樹林帯を抜けると目前に真っ青な空をバックに冠雪した富士山が見えたり、反対側には眼下に駿河湾の一望が見えたり変化に富んだ展望を楽しめました。海無し県、埼玉在住者には山頂から間近に見える海や漁港の眺めにとっても感動しました。参加者皆さんの楽しいオシャベリで軽快な足取りになり、早目下山が出来、時間に余裕が持てたので沼津駅前でも美味しいお寿司も食べられました。そして何より、前泊からのCL 渡辺さん SL 大野さんのご配慮に感謝しております。楽しい山行ありがとうございました。

■吉田湖恵：縦走大好きな私にとって沼津アルプスは願ってもない山行でした。また、とても久しぶりに参加する支部山行だったので前泊の日から『うん、お天気は大丈夫そう！』とワクワク・ドキドキ。参加者の方々とも久しぶりにお会い

できていろいろお話ししながら楽しく登りました。低山ではありますが起伏が激しく山稜線は整備されているものの鎖・ロープを伝って進むところもあったので緊張もしました(低山を舐めてはいけませんね!)。期待の富士山は大きく見えましたが山頂は雲に隠れて残念～。北風も冷たかったですね。でも海を見下ろす大パノラマには『これ、これよー!』とみんなで感動しました。下山後に食べたお寿司も満足、満足。思い出に残るとても楽しい山行になりました。皆さまお世話になりありがとうございました。そしてCL 渡辺様、SL 大野様のご尽力に感謝いたします。

■渡辺徹也：沼津アルプスは、地元の山の会の人たちから愛され・親しまれている山であることをテレビ放映で知り、関心を持っていました。地元の紹介によると、「登山入門に最適」と謳われながらも、地図を一見しただけでも中々歩きがいのある山と感じていました。当日は、天気も良く、参加者の皆様の足並みが揃い、順調にゴールできたので、良かったです。